



今回の地震を受け、改めて緊急時の「自分の命を自分で守る」行動について各学級・学年で子供たちと考える場を設けました。子供たちは、地震が起きたらどうするかを具体的に話し合ったことで見通しをもつことができ、状況に応じてできることをしようという気持ちになったと思います。高学年のタブレットには、2学期より「道下相談ボックス」というアンケートページへのアイコンを置いており、困りごとがある場合、これを通じて相談することができます。今回はそれを使って、不安な気持ちがある場合に相談したいか意思表示したり、今の思いを綴ったりしました。いつもと変わらない笑顔を見せてくれている子供たちの中には、大きな不安を抱えている子供が少なからずいました。一人一人の子供に目を配るとともに、学校が「みんなと過ごせて楽しい場所」「安心で安全な場所」と感じられるよう、教育活動を工夫していきたいと思います。

加えて、1月中に今年度2回目の地震・津波災害を想定した避難訓練を行う予定です。今回は、避難が終了し、安全が確認された後、保護者の皆様へ児童を引き渡す前の段階まで訓練する予定です。みんなで話し合ったことを生かして真剣に取り組んでくれることでしょうか。なお、保護者の皆様への子供の引き渡しについては、本日、魚津市教育委員会より詳しい文書が配布されているので、併せてご覧になり、確認をお願いいたします。

ご家庭におかれましては、大きな地震が発生した場合の対応について話し合っていたいただきありがとうございました。甘えが強くなる、ちょっとした物音に驚く、些細なことでイライラするなどの行動や心の様子は、ほとんどの場合、時間とともに回復するそうですが、心配なことがありましたら、どうぞお聞かせください。今後ともご家庭と手を携えて子供たちを見守っていきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

【コミュニティ・スクールの導入について】



魚津市教育委員会からのお知らせです。

魚津市教育委員会では、コミュニティ・スクール導入に向けて準備を進めています。

令和6年度中にすべての小中学校に導入する予定です。(年度当初にスタートする学校と2学期中にスタートする学校があります。道下小は年度当初スタートです。)

コミュニティ・スクールの概要については、別添の「コミュニティ・スクールについて」をご覧ください。(ホームページにも掲載しています)

コミュニティ・スクール制度の導入により、保護者や地域の方と学校のビジョンや目標、課題を共有し、協議を重ねることで、学校運営上効果的な取り組みができるものと期待しています。まず、メリットとして挙げられるのは、「特色のある学校づくり」の促進です。また、地域の方との関わりの中で、子供たちが地元への愛着を深めたり、自己肯定感を高めて社会性・主体性・協働性を身に付けたりすることも期待されます。

コミュニティ・スクール導入に向け、学校関係者への研修、地域や保護者の代表の方々への説明等、準備を進めてきました。今後は、学校運営協議会規則の制定、条例改正等の手続きや運営協議会委員の選定等、令和6年度からの運用に向けて、体制整備に取り組んでいきます。

(お知らせ)

先日、コミュニティ・スクールについての座談会(12/25 よつば小学校区)が開催されました。座談会の様子は、NICE TVで放映(ナイスキャッチ UOZU 1/28~2/3)される予定です。ぜひご覧ください。